

障害者の生涯学習のコーディネーターに聞く！障害者の学びの場づくりQ&A

※これから障害者が参加できる講座をつくろうと思っている市区町村社会教育職員の立場に立ったQ&A

①講座の企画

Q.健常者と障害者が一緒に学ぶ講座か、障害者のみを対象とした講座のどちらからはじめたら良いでしょうか？

A.それはケースバイケースですが、これから新たに講座をつくる場合は…

②参加者の募集

Q.障害者も参加できる講座をつくりたいと思っていますが、広報紙で参加者を募集する際は、対象をどのように表記したらよいでしょうか？「対象：市内在住・在学・在勤の方」という記載をみたときに、障害当事者の方が応募してみようと思うのか不安です。

A.例えば、対象の備考に、「障害の有無を問いません」と記載するのはいかがでしょうか…

③当日の運営

Q.合理的配慮という言葉は知っていますが、具体的に何をすれば良いか、よくわかりません。講座の参加者に障害当事者が居ることが事前にわかった場合は、どうしたら良いでしょうか？

A.講座前に障害当事者の参加がわかった場合は、ご本人に事前に連絡をとり、どのような対応を求めているかコミュニケーションをとるようにしましょう…

④アンケートの実施

Q.講座の終了時にはいつも参加者アンケートをとります。普段は紙とえんぴつを配って感想を書いてもらっていますが、例えば知的障害のある方を対象とした講座でのアンケートはどのようにとれば効果的でしょうか？

A.アンケートにはルビを振り、必要に応じて聞き取りをしながら…

⑤自主サークル化

Q.全講座の終了後は、参加者の自主サークル化を考えています。自主化したあと、行政が支援できることはなんのでしょうか？

A.障害者団体として登録をするサポート、ボランティア等の人材の紹介、施設の優先予約などの支援や…